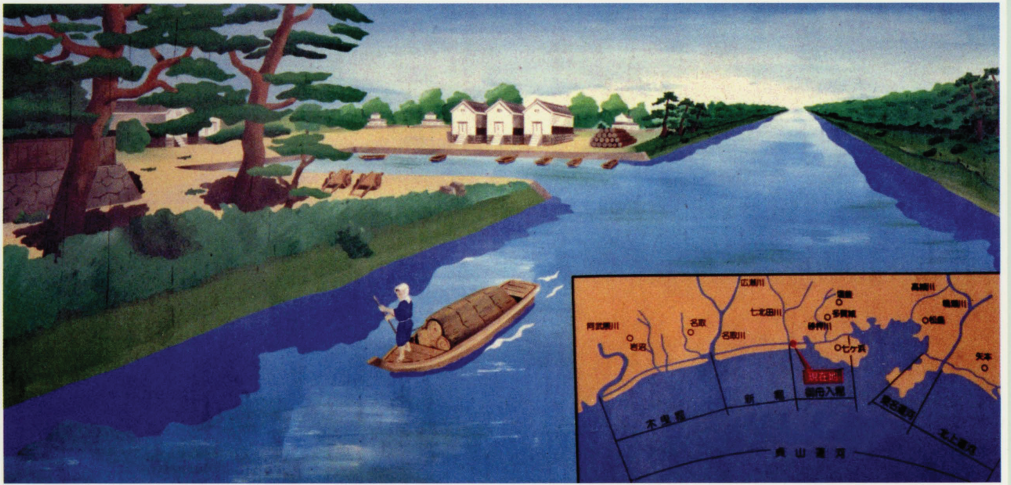


町

蒲

生



地元学の会

て明治16年～20年（1883～1887）に開削。同時に南部と北部の水路も大幅な改修  
 拡張が行われ、小型蒸気船も運行した。

### 蒲生運送数

	穀類	食塩	砂糖	木材	魚類	石材	肥料	雑貨	通船
明治24年	米580石 雑240駄	1,715駄	2,221駄	木炭 2,615駄	1,598駄	439坪		18,174駄	
昭和8年	米1,300石			2,486駄	3,621駄	砂利 890坪	7,640駄	2,300駄	8,700艘

### 南閘門通船状況（艘）

	モーター船	小舟	漁船	ボート	平田舟他	計
昭和39年	101	1,486	45	18	1	1,651
昭和40年	111	739	41	36	2	934



昭和30年頃の貞山堀 ていざんぼり 旧蒲生北閘門 きゅうがもくうきたこうもん（現在は無い）

## 10. 海

海岸は遠浅で、海水浴に適していて、夏には海の家も建ち、多くの海水浴の人々で賑わった。昭和34年、污水处理場が建設され、水質汚染が懸念されて水泳禁止区域となった。



海水浴場に渡る小さな橋（昭30年頃）



海水浴場（昭30年頃）

## 11. くらし

### イ. くこ

砂浜に生えている丈夫な草で、夏に砂浜で集め、干して置く。干し上がったものは、縄にしたり、七ヶ浜の漁港に行商に行き売りさばく。漁師は、細い縄や太い縄なにな縋ない、漁の時に使った。年寄りの小遣い稼ぎであった。

### ロ. ドンヅキ搦き

ドンヅキとは、家屋建設の土台の基礎固めの事である。工事請負人が、曳き手の人を集め、現場に出掛ける。曳き手には、女性が多く、弁当を持ち、仲間と連れだって行った。土台の上に、おもし重石を引き上げ下ろす為の三角の檣を組み、中心にネトリの人（音頭を取る男性）が居て、曳き手の女の人の、5～10人位が「ヨーイ、コラー、エー」と歌に合わせて綱を引張り、手を放して土台を固